

鑄型用山砂

Molding Natural Sand

1. **適用範囲** この規格は、粘土分 2%以上の鑄型用山砂（以下、山砂という。）について規定する。

引用規格：

- JIS Z 2601 鑄物砂の粘土分試験方法
JIS Z 2602 鑄物砂の粒度試験方法
JIS Z 2606 鑄物砂の強熱減量試験方法

2. **種類** 山砂⁽¹⁾は、粘土分により 4 種類に分け、粒度により 48 号～270 号の 6 号別とする。

注⁽¹⁾ 山砂は、自然に粘土分 2%以上を含む鑄物用砂で、採掘場所の状態を問わない。

3. **強熱減量** 山砂は、粘土分 2%以上を含有し、強熱減量は 6%以下とする。

4. **粘土分** 山砂の粘土分は、表 1 のとおりとする。

表 1 粘土分

種類	単位%	
	粘土分	
1 種	2 以上 10 未満	
2 種	10 以上 20 未満	
3 種	20 以上 30 未満	
4 種	30 以上 40 未満	

5. **粒度** 山砂の粒度は、表 2 のとおりとする。

表 2 粒度

号別	ふるいの呼び寸法 μ			ピーク ⁽²⁾ の重量比 %
48 号	420 (35)	297 (48)	210 (65)	30 以上
65 号	297 (48)	210 (65)	149 (100)	
100 号	210 (65)	149 (100)	105 (150)	
150 号	149 (100)	105 (150)	74 (200)	
200 号	105 (150)	74 (200)	53 (270)	
270 号	74 (200)	53 (270)	ふるい下	

備考 かつこ内の数値は、メッシュ数である。

注⁽²⁾ ピークは、次の表による。

号別	ふるいの呼び寸法 μ
48号	297
65号	210
100号	149
150号	105
200号	74
270号	53

6. 試験方法

6.1 **強熱減量** 山砂の強熱減量の定量方法は、**JIS Z 2606**（鋳物砂の強熱減量試験方法）によって行う。

6.2 **粘土分試験方法** 山砂の粘土分の試験方法は、**JIS Z 2601**（鋳物砂の粘土分試験方法）による。

6.3 **粒度試験方法** 山砂の粒度試験方法は、**JIS Z 2602**（鋳物砂の粒度試験方法）による。

7. **検査** 山砂の検査は、品質を代表するように試料（この場合、大口試料は、1口の数量の約0.1%とし、最低10kgとする。）を採取し、6.の試験方法によって検査を行い、3.、4.及び5.の規定に適合しなければならない。

8. **表示** 検査に合格した山砂には、採掘所で1出荷ごとに種類、号別、産地、採掘所名（又はその略号）を送り状に明示しなければならない。

鉄鋼部会鑄型用砂専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員会長)	牧 口 利 貞	金属材料技術研究所
	市 橋 利 明	工業技術院標準部
	黒 田 義 郎	神奈川県工業試験所川崎支所
	小 林 一 典	社団法人鑄造技術普及協会
	松 村 英 一	埼玉県鑄物機械工業試験場
	熊 沢 豊	川鉄鋳業株式会社
	鈴 木 俊 夫	瓢産業株式会社
	中 野 友 邦	三栄銀砂鋳業株式会社
	山 下 岩 吉	日本鑄物砂工業会
	有 田 誠 一	三菱重工工業株式会社名古屋製作所
	今 村 実	日本鑄鐵鋼会
	河 野 幸 男	日本銅合金鑄造会
	喜 多 新 男	自動車鑄物株式会社
	国 友 源 了	社団法人日本鑄物工業会
	吉 田 金 茂	社団法人軽金属協会
	坂 井 昇	池貝鉄工株式会社
	桜羽場 一 義	株式会社三和鑄造所
	菊 池 正 夫	株式会社小松製作所
	保 科 正 彦	久保田鉄工株式会社
	(事務局)	牟田口 元 堂
吉 枝 正 明		工業技術院標準部材料規格課
橋 本 繁 晴		工業技術院標準部材料規格課